

今年1月12日に発生したハイチ大地震に続き、2月27日にはチリで大地震が発生。AMDAは日本、カナダ、ペルー、コロンビア、ポリビア、ネパール、インドの7カ国で構成する多国籍医師団をハイチに派遣、救活活動を実施している。

ハイチでは、整形外科の手術が必要な状況は、発生2カ月目にして終わりがつつある。今後は四肢を切断せざるを得なかった被災者のために、義肢センターの設立を進めている。

一方チリでは、戒厳令下に、政府による水や食料の配給が可能になった。AMDAチームの調査では、乳幼児に対する支援がなされていない。乳幼児健診とともに、ミルクやおしめなどの支援を決定し、今月15日にペルー支部から調整員1人と日本から看護師2人

を追加派遣している。

ハイチとチリでの被災者救活活動を迅速に実施できたのは、四つの国際ネットワークのお陰である。一つは、AMDAに活動資金を提供して下さる支援者の方々。二つ目は医療スタッフを派遣してくれる各国のAMDA支部。三つ目は、沖縄県と移民としての沖縄県人。最後は青年海外協力隊員だ。中南米は日本から遠く、文化慣習が異なる上にスペイン語圏である。青年海外協力隊員、元隊員の志の高いネットワークのもつ情報と行動の威力を本当に実感させられた。あらためて感謝を申し上げたい。

先般、JA岡山中央会の村上進連会長と懇談する機会があった。「岡山県民190万人の、安心・安全」な食の提供に責任を持ちたい」との使命感と、95年の阪神大震災では、県農林水産部課長として大量のおにぎりを被災地に届ける陣頭指揮を執られたことをお聞

「医と食 命のベトナムファンド」

中山間地域の振興が話題になり、国際貢献推進条例に基づいた農業先進県としての技術と、青年海外協力隊員の情熱の組み合わせについて熱い議論を重ねた。先行モデルはあった。世界遺産で有名な石見銀山(島根県)のふもとにある人口400人の旧大森町(現大田市)である。そこには、義肢・装具などの医療機器の製造と販売を行う世界的に有名な企業「中村ブレイス」がある。「経営とは社会貢献」。中村俊郎社長の哲学と技術が、地元と世界を結び付けている。多くの若者が夢をもって同社の門をたたいている。

中山間地域の振興策は、県国際貢献推進条例、農業技術をして岡山人脈の結集を核に、海外での展開に可能性が見いだせる。志の高い青年海外協力隊員に夢を与えられるか否か、である。世界的潮流は「チャイナ・プラス・ワン」であり、隣国のベトナム経済は上昇過程にある。ベトナムの書記長が岡山に農業視察に訪れた際、マスカット一房が自国の労働者の給料1カ月分に相当すると知り、強い衝撃を受けたという。AMDA社会開発機構は、ベトナム山岳民族の健康推進プロジェクトを実施。さらに、世界的に有名な小児心臓外科医である岡山大学医学部の佐野俊一教授が、ベトナムの小児心臓手術普及のために、正式な外交ルートでベトナム副首相から招へいされる予定だ。岡山とベトナムの関係は強化されている。時は今である。

県の明日の活力は、全国の意欲と能力のある若者に機会を与えることであり、機会とは活動資金と社会的ポジションである。JA岡山中央会、岡山県、岡山大学、経済界

そしてAMDAの五者連携を基盤とし、岡山県国際貢献推進条例にもとづいた、「医と食 命のベトナムファンド」を夢想したい。

「世界はチャイナ・プラス・ワン」であり、隣国のベトナム経済は上昇過程にある。ベトナムの書記長が岡山に農業視察に訪れた際、マスカット一房が自国の労働者の給料1カ月分に相当すると知り、強い衝撃を受けたという。AMDA社会開発機構は、ベトナム山岳民族の健康推進プロジェクトを実施。さらに、世界的に有名な小児心臓外科医である岡山大学医学部の佐野俊一教授が、ベトナムの小児心臓手術普及のために、正式な外交ルートでベトナム副首相から招へいされる予定だ。岡山とベトナムの関係は強化されている。時は今である。

「世界はチャイナ・プラス・ワン」であり、隣国のベトナム経済は上昇過程にある。ベトナムの書記長が岡山に農業視察に訪れた際、マスカット一房が自国の労働者の給料1カ月分に相当すると知り、強い衝撃を受けたという。AMDA社会開発機構は、ベトナム山岳民族の健康推進プロジェクトを実施。さらに、世界的に有名な小児心臓外科医である岡山大学医学部の佐野俊一教授が、ベトナムの小児心臓手術普及のために、正式な外交ルートでベトナム副首相から招へいされる予定だ。岡山とベトナムの関係は強化されている。時は今である。